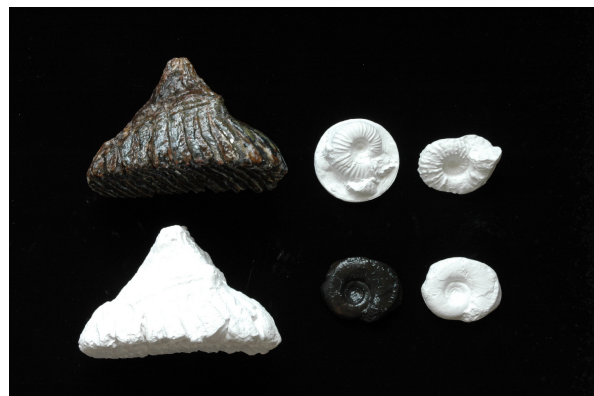


## 「化石のレプリカを作ろう」のお知らせ！

- 日 時 平成 27 年 1 月 9 日（金）
  - ①午前の部 午前 10 時～12 時
  - ②午後の部 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- 場 所 別海町郷土資料館
- 参加対象 小学生
- 内 容 型に石こうを入れて、アンモナイトやマンモスの化石のレプリカを作ります。色もぬることができます。
- 定 員 午前・午後の部とも 10 名限定とします。電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を 12 月 26 日（金）までにご連絡ください。



写真左-マンモスゾウ臼歯化石

写真右-アンモナイト化石

## 尾岱沼・床丹・平成地区文化祭、 「昔の日用品コーナー」！（出前移動展）

11 月 1 日～3 日東公民館で開催された上記文化祭に、「昔の日用品コーナー」として所蔵資料の展示を行いました。芸術作品とともに来場される方に昔を懐かしんでもらおうと東公民館と企画しました。

お釜、おひつ、炭火アイロン、ミシン、レコードなどの懐かしい資料とともに、地域の方から持ち寄られた資料も並び子どもから大人まで楽しめる展示となりました。



# 好評です。昔体験学習！

11月に町内3校（別海小・上春別小・別海中央小）の小学生3、4年生が、「昔の暮らし」「昔の道具を調べる」授業の一環で来館されました。主に昭和初期からの開拓時代の生活道具を見学しその使用方法などを調べる授業です。

当館では、見学以外にもいくつか昔の道具を実際に使用し体験することを6年程前から初めています。

体験出来る主な道具は、「灯油ランプ」「火鉢」「火のし」「炭火アイロン」「湯たんぽ」「洗濯板」「せんべい焼き」などです。なかでも「せんべい焼き」は1番人気があり、自分で焼いて食べる事が出来ます。

便利な生活をしている中で昔の道具を使うと、準備などに手間がかかり、その取扱いも不便さを感じます。昔の生活の中では、常に密着し関連性のあるもので、知恵と工夫が隠されていることを学ぶ事が出来たかと思います。

今後は、メニューを増やし沢山の児童・生徒にこうした体験をしていただこうと考えています。



炭火アイロン



洗濯板



湯たんぽ



せんべい焼き

別海町郷土資料館だより No.185

発行日 平成26年12月2日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

**編集後記** 11月は、尾岱沼・床丹・平成地区文化祭での当館所蔵資料の展示、町内3校の見学と昔体験事業で、郷土資料が役に立つ場面が多くありました。目に触れる機会を提供することや、資料を実際に使って見ることは、郷土資料館の大きな役割で、今後も色々な事業の展開を考えて行きたいと思います。 (K.I)